多摩大学

Rapport（ラポール）とは、仏語で「信頼と親愛の絆」を表しています。
多摩大学広報誌「Rapport」は、多摩大学と多摩大学サポーターをつなぐ
コミュニケーション誌です。

発行者／多摩大学　発行日／2020 年 3 月 30 日
東京都多摩市聖ヶ丘 4-1-1　TEL：042-337-1111　FAX：042-337-7103
https://www.tama.ac.jp/

GERONTOLOGY

ジェロントロジーに取りくみ
大都市郊外型高齢化に
立ち向かう実践的研究

Rapport

2020 Number 109

多摩大学｜広報誌｜

Vol.109 Contents

2019年度 第11回多摩大学アクティブ･ラーニング発表祭 …… 02
2019年度 第2回SRC発表 …… 04
第8回「実学の帝塚山大学」実践学生発表祭 …… 05
第1回学内業界セミナー …… 05
2020年度春学期 寺島実郎監修リレー講座 現代世界解析講座XIII …… 06
2020年度春学期 T-Studio公開講座 …… 06
〈グローバルスタディーズ学部〉第1回湘南中国語スピーチコンテスト …… 07
多摩地域の名所･旧跡⑥【二ヶ領用水】 …… 07
多摩大学体育会フットサル部 活動報告 …… 08
インターゼミ …… 08

多摩キャンパス

2019 年度 第 11 回多摩大学アクティブ・ラーニング発表祭

多摩大学では開学以来、学内の学修にとどまらず、学生が地域をはじめとする学外のフィールドに出て、行政・企業・NPO・地域団体・地域住民などさまざまな関係主体と連携しながら、課題の発見と解決を目指すゼミ活動を行っています。2019 年度も多種多様なプロジェクト、研究活動、アクティブ・ラーニングプログラム（41 プログラム）を推進。2019 年 12 月 14 日、「2019 年度 第 11 回多摩大学アクティブ・ラーニング発表祭」（主催：多摩大学アクティブ・ラーニングセンター）を開催しました。

今年度は午前の部：教育目的プログラム（3 会場）、午後の部：成果提示目的プログラム（3 会場）の発表が行われ、多摩大学の学生以外にも他大学の招待発表や、高校生による発表もあり、アゴラと 101･201 教室前掲示板では成果物の展示がありました。地域、行政、企業、NPO、教育機関の方々にもご出席いただき、本活動の成果を広く共有する機会となりました。【URL】https://www.tama.ac.jp/al2019/

教育目的プログラム	
タイトル	発表者
人口減少リスクに対応する観光・交通・流通対策―東日本大震災事例より	中庭光彦ゼミ　2・3 年生
自転車ロードレース競技と多摩地域の活性化	バートルゼミ
米中貿易摩擦から考える Huawei と Apple の今後	
欧州からのインバウンド客対策	
若者のスポーツ離れ　～ J リーグを中心に～	
コンビニとドラッグストアの比較	
日本のショッピングモールの現状と課題から考える今後の SM のあり方	
多摩祭：奥多摩治助芋商品開発プロジェクト	松本祐一ゼミ　2 年生／志賀敏宏ゼミ
志企業　会社案内プロジェクト昭島版	松本祐一ゼミ／佐藤洋行ゼミ
アジアにおけるシンガポールと日本	水盛涼一ゼミ　2 年生（1 班）
中間国としてのウクライナと日本の立場	水盛涼一ゼミ　2 年生（2 班）
メキシコと日本の関係性	水盛涼一ゼミ　2 年生（3 班）
日土の交流と経済～国交 95 年を迎えて	水盛涼一ゼミ　2 年生（4 班）
飛騨高山 AL における地域観光研究・商品開発・SDGs・中大接続の成果報告	飛騨高山 AL プログラム参加者
スマホは生活の中で人間関係をどう変えたか	プレゼミ X05　中庭光彦ゼミ
You は何しにニッポンへ【留学生編】	プレゼミ Y07　梅澤佳子ゼミ
性	プレゼミ X09　村山貞幸ゼミ
多摩大に新しい風を！多摩大学オリジナルグッズ提案	プレゼミ Y14　中村その子ゼミ
日本から発信したいダークツーリズム	Siesta（サークル）

午前：B 会場（101 教室）での発表

午前：D 会場（201 教室）での発表

午後：A 会場（001 教室）での発表

成果物展示（アゴラ）

成果提示目的プログラム		
タイトル		発表者
多摩市シティセールス提案		中村その子ゼミ　3 年生
奥多摩活性化プロジェクト：回してまわろう奥多摩ガチャポン		松本祐一ゼミ　3 年生
モンゴル帝国と朝鮮半島		インターゼミ（アジアダイナミズム班）
多摩地域のコミュニティ形成 ～高齢者の社会参画と地域づくりプラットフォームの構築を中心に～		インターゼミ（サービス･エンターテインメント班）
多摩地域の産業から未来を描く　～住み続けたい街の実現に向けて		インターゼミ（多摩学班）
地域創生の現状と課題、今後の方向性		インターゼミ（地域班）
AI 活用の現在		インターゼミ（AI 班）
A 知探 Q の夏「被災地支援について考えよう」		多摩大学附属聖ヶ丘高等学校
アジアダイナミズム研修　高校生が考えたこと		
Furniture inside your head		多摩大学目黒高等学校（起業体験 SG）
One coin Wi-Fi		
TMU-TUM-BLER!!		
本当の生きやすい環境のために		多摩大学目黒高等学校（株式投資 SG）
自然の敵 P		
願いを込める　増上寺七日まつり和紙キャンドルナイト -2019-		多摩大学目黒高等学校（めぐろイベント SG）
高校生が考える新しい商店街への第一歩		
ロシアの文化について		多摩大学目黒高等学校（多文化共生 SG）
いちょう団地（祭り）について		
アジアダイナミズム研修　米中のトゥキディデスの罠		多摩大学目黒高等学校（アジアダイナミズム研修）
招待発表	いまこいバルシステム開発プロジェクト	帝塚山大学 経済経営学部 経済経営学科チーム
	旧西豊小学校校舎再生プロジェクト	帝塚山大学 現代生活学部 居住空間デザイン学科チーム
	東京経済大学・小木ゼミによる企業とのコラボ活動　～ web 国分寺物語、TFT ランチ企画・販売、こんなお菓子あったらいいなプロジェクト～	東京経済大学　小木ゼミ

※ AL：アクティブ・ラーニング

成果物展示		
会場	展示タイトル	展示グループ名
アゴラ	対戦車防衛戦ゲーム	多摩大学目黒高等学校
	RPG ナイト	多摩大学目黒高等学校
	シューティングゲーム	多摩大学目黒高等学校
	アクションゲーム	多摩大学目黒高等学校
	アーケードゲーム	多摩大学目黒高等学校
	被災地支援について考える　～現地の方から教わったこと～	多摩大学附属聖ヶ丘高等学校 A 知探 Q『被災地支援について考えよう』チーム
101 教室前掲示板 201 教室前掲示板	A 知探 Q の夏 学び発表	多摩大学附属聖ヶ丘中学高等学校

2019 年度 第 2 回 SRC (Student Research Conference) 発表

2020 年 1 月 24 日、多摩キャンパスにて 2019 年度第 2 回 SRC（Student Research Conference）が開催されました。

SRC は経営情報学部の学生がホームゼミにおける研究成果を発表する場で、年 2 回（夏・冬）行っています。発表者には、発表と質疑応答の時間（M：10 分、L：15 分）が与えられました。質疑応答では、教員や学生から、「実験の目的は？」「アンケートの対象をもっと多くした方がよい」「分析・調査の手法はとてもよい。今後の研究に期待する」など様々な質問や意見、アドバイスがありました。

プログラム			
211 教室		212 教室	
Arduino における光センサーの制御		パワースポットとゼミ室内の脳波の違い	
M 菅 優貴	出原至道ゼミ	L 大内 翼、石本 明子、宇津 明、福嶋 悠恭、安田 陸、山口 雄平、岩下 耕之助、春畑 遼太郎、麦倉 拓弥、割田 大輝、大隈 晨太郎	良峯徳和ゼミ
試し斬り再現		「ニューロフィードバックトレーニング」とは何か	
M ラウ佐光マシュー	出原至道ゼミ	L 望月 雄人	良峯徳和ゼミ
VR 空間でのホームラン体験システム		ゲームによってもたらされる焦り（緊張）と集中を脳波で測定する	
L 相澤 大虎	出原至道ゼミ	L 小林 史季、栗山 佑、住安 けんじ、吉田 爽太朗	良峯徳和ゼミ
ユニクロは、なぜアジアで儲かっているのか		割り込みを防止しよう！	
M 鷹觜 航生、シュウ セン、ホウアンナラ	バートルゼミ	M 杉谷 佳希、品川 勇樹、平田 大貴	大森拓哉ゼミ
素食料理の可能性		アンカリング効果はどんな商品にどこまで有効なのか	
M 井上 隼人、小澤 海斗、ソウ キョウ、ゴ デンウ	バートルゼミ	M 安藤 七海、宮川 歩花	大森拓哉ゼミ
増加するヴィーガンにどう対応すべきなのか		見た目による印象と現実の違い	
M 小日向 龍人 、高雅楠、阿娜尔	バートルゼミ	M 四ツ車 昌、小林 拓視	大森拓哉ゼミ
日系コンビニが中国で展開していく方法とは		キャッシュレスカード普及の条件と事例報告	
L 小川 悠介、王岸林、藤純萱	バートルゼミ	M 大野 将来	中庭光彦ゼミ
日中大学生比較		レジリエンスのある交通とは ～三陸鉄道事例より～	
L 吉岡 裕太、肖 欣然、ソリナ	バートルゼミ	M 磯部 直樹	中庭光彦ゼミ
エナジードリンクが及ぼす脳波への影響		女性のメイクについて	
M 若林 俊成	良峯徳和ゼミ	M 梅澤 万結	大森拓哉ゼミ
音が脳波に与える影響について		期間・能動性・実務性の三軸によるインターンシップの分類	
L 宮澤 隆夫、山本 訓大、市瀬 大地、北川 裕貴	良峯徳和ゼミ	M 河崎 千晏	出原至道ゼミ
音楽ジャンルで脳の活動は変わるのか		ゲームエンジンにおける統計データの可視化	
L 佐藤 哲大、林 鴻揚、伊部 裕次郎、萱島 涼介	良峯徳和ゼミ	M 谷萩 優一	出原至道ゼミ
光が脳波に与える影響		記憶ツーリズムにおける語り部の役割 ～大槌町を題材として～	
L 吉浜 秀、濱田 拓海、森田 豊繁、渡部 稜	良峯徳和ゼミ	M 山口 雄資	中庭光彦ゼミ
セブンイレブンのイートインスペースのマナーについて		(株)かまいし DMC 事業部長が考える「観光」「サスティナビリティ」の意味	
M 高田 麻由、真坂 省吾、村下 駿	大森拓哉ゼミ	M 西田 翔一	中庭光彦ゼミ
スクールバスの横入り列の乱れ		無意識に真ん中を選ぶ真ん中効果の実験	
M 清水 茉歩、高橋 歩夢、渡邊 朗伸	大森拓哉ゼミ	M 久保田 彩音、安田 星菜、西内 瑞季	大森拓哉ゼミ
ダミーカメラによるポイ捨ての改善			
M 秋山 京吾、岩渕 匡太、金子 拓海	大森拓哉ゼミ		
喫煙所の改善			
M 平山 佳苗、浦橋 大地、松山 明日翔、山口 裕也	大森拓哉ゼミ		

学外交流

第 8 回「実学の帝塚山大学」実践学生発表祭 ～アクティブ・ラーニングの実践事例～

2020 年 2 月 22 日、本学と「学術交流に関する包括協定」を締結している帝塚山大学の東生駒キャンパス（奈良県奈良市）にて、「第 8 回『実学の帝塚山大学』実践学生発表祭 ～アクティブ・ラーニングの実践事例～」が開催され、本学のインターゼミ（社会工学研究会）「多摩学班」（学生 3 名）と「飛騨高山アクティブ・ラーニングチーム」（学生 3 名）が参加しました。

「多摩学班」のテーマは「多摩地域の産業から未来を描く―住み続けたい街の実現に向けて―」、「飛騨高山アクティブ・ラーニングチーム」は「飛騨高山アクティブ・ラーニングにおける地域観光研究・商品開発・SDGs・中大接続の成果報告」をテーマにゼミで一年間積み上げた研究成果を発表しました。昨年 12 月 14 日には、本学で開催した「多摩大学アクティブ・ラーニング発表祭」にも帝塚山大学からの参加があり、研究発表を行っています。

このような研究発表を軸に学生と指導教員が毎年交流を深めており、互いに切磋琢磨する貴重な機会となっています。

発表の準備をする多摩大生

「飛騨高山アクティブ・ラーニングチーム」発表

インターゼミ「多摩学班」発表

キャリアサポート

キャリア支援課主催「第 1 回 学内業界セミナー」を開催

2019 年 12 月 20 日　多摩キャンパスにて、2021 年卒業予定者を対象とした「第 1 回 学内業界セミナー」を開催しました。

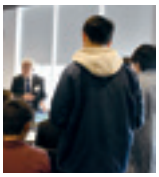
■灼熱講義「就活に“やりたいこと”は不要」

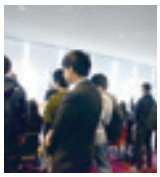
講師キャリアカウンセラー　北山 四郎 氏

■企業様一言 PR タイム 企業様が一社 1 分で PR

■企業セミナー（ブース形式）

企業様と学生は会場を移動。学生たちはそれぞれ関心のある企業のブースに集まり、社員による説明を聞きました。





■参加企業様 10 社

○日本住宅株式会社　○株式会社ジェイプロジェクト
○ゴトウコンクリート株式会社　○株式会社ノジマ
○セレサ川崎農業協同組合　○国際自動車株式会社
○多摩信用金庫　○トランス・コスモス株式会社
○株式会社 NTT データエマーズ
○トヨタ西東京カローラ株式会社

●キャリア支援課担当者・所感

学生の「視野拡大」を企図し、参画企業の社名・業界名を当日まで非公表にした少々チャレンジングな企画。結果的には 141 名（就職希望者中 43.7%）が参加し、前年同時期を 20% 以上上回った。企業担当者に名刺を差し出す学生や、隙間時間に積極果敢に質問する学生も散見され、就職活動のファースト・イベントとしては順調な滑り出しといえる。

今回のイベントで就職先決定に結実することはひとつの喜びであるものの、何よりも「まず行動してみることが損ではない」という気づきを得て、「不確実でも行動してみよう」という思考回路・行動回路がセットされることこそ、今後末永く続く彼らのキャリアに資する武器だと考える。付け焼刃でない武器を授けられるよう、就職先の決定はもちろんだが、就職後も見据えた本来的なキャリア支援を志したい。

2020 年度春学期 多摩大学 寺島実郎監修リレー講座 現代世界解析講座XIII

現代世界に関する全体知の試み

今という時代を生きるためには、全体知が不可欠である。その全体知を求めての「知の再武装」の試みも 13 年目に入った。こうした講座の積み重ねも大学の社会的責任だと思う。

【会場】多摩キャンパス 001 教室　【時間】14：50 ～ 16：10　【受講料】一般 13,000 円（全 12 回分）

特別割引受講料 11,000 円　＊**多摩大学後援会会員**、多摩市および稲城市の在住･在勤者、他大学学生、多摩大学卒業生･大学院修了生

●ライブビューイング受講・当日録画放映受講（全 12 回）　【ライブビューイング受講料】6,000 円（湘南キャンパス）

【当日録画放映受講料】8,000 円（東京都心サテライト（文庫 Café「みねるばの森」））　第 1 部 16:30～17:50　第 2 部 18:20～19:40

【主催】多摩大学　【後援】多摩市、多摩信用金庫　【監修】寺島実郎（多摩大学学長）　【HP】http://relay-kouza.net/

	開講日	講師（敬称略）	肩書・役職等	テーマ
1	4 月 16 日（木）	寺島 実郎	多摩大学 学長 （一財）日本総合研究所 会長	「時代認識を深める ― 2020 年代の意味」
2	4 月 23 日（木）	海野 素央	明治大学政治経済学部 教授	「2020 年米大統領選挙」
3	5 月　7 日（木）	浜 矩子	同志社大学大学院ビジネス研究科 教授	「欧州と EU、この似て大いに非なる関係 ～ブレクジットの次に来るもの～」
4	5 月 14 日（木）	白戸 圭一	立命館大学国際関係学部 教授	「現代アフリカを学ぶと日本が見える」
5	5 月 21 日（木）	巴 特 尔 （バートル）	多摩大学経営情報学部及び大学院経営情報学研究科 教授 国際交流センター長	「『内憂外患』の中国の実像とゆくえ」
6	5 月 28 日（木）	礒﨑 敦仁	慶應義塾大学 准教授	「北朝鮮情勢を読み解く」
7	6 月　4 日（木）	寺島 実郎	多摩大学 学長 （一財）日本総合研究所 会長	「世界認識の再構築 ― 17 世紀オランダからの視界」
8	6 月 11 日（木）	高橋 純子	朝日新聞 編集委員兼論説委員	「政治とメディア ― 権力監視の〈現在地〉」
9	6 月 18 日（木）	小田島 春樹	有限会社ゑびや 代表取締役 株式会社 EBILAB 代表取締役	「たった 1 店舗の老舗飲食店が実践した次世代飲食経営 ～技術とデータを活用した田舎経営のリープフロック現象～」
10	6 月 25 日（木）	中村 その子	多摩大学経営情報学部 教授	「言語と非言語のはざま ～人間の言語感覚とコミュニケーション認識～」
11	7 月　2 日（木）	菅原 公一	株式会社カネカ 代表取締役会長	「化学が開くニューフロンティア」
12	7 月　9 日（木）	寺島 実郎	多摩大学 学長 （一財）日本総合研究所 会長	「2020 年夏、世界の構造変化と日本」

【お問い合せ】多摩大学寺島実郎監修リレー講座事務局　TEL：042-337-7300 / FAX：042-337-7103　Mail：relay@gr.tama.ac.jp

2020 年度春学期

T-Studio 公開講座

多摩大学では、地域社会の発展に寄与し、社会人の教養を高め、文化の向上に資するために 2020 年度公開講座を開催致します。

私たちは、受講生の皆様の“知的好奇心”にお応えするため、本学の特性を生かした講座を開講し、皆様との繋がりを強くしたいと考えております。

【会　場】多摩キャンパス T-Studio 2F セミナールーム

【時　間】13：00 ～ 14：00　※第 1 回（4/16）は 12：00 ～ 13：00

【受 講 料】1 講座 1,000 円　※リレー講座を受講している方は無料

【H　P】https://www.tama.ac.jp/t-kouza/

	開講日	時　間	講　師
1	4 月 16 日（木）	12：00 ～ 13：00	趙 佑鎭 教授
2	4 月 23 日（木）	13：00 ～ 14：00	梅澤 佳子 教授
3	5 月　7 日（木）	13：00 ～ 14：00	齋藤 S. 裕美 教授
4	5 月 14 日（木）	13：00 ～ 14：00	高橋 恭寛 准教授
5	5 月 21 日（木）	13：00 ～ 14：00	野坂 美穂 准教授
6	5 月 28 日（木）	13：00 ～ 14：00	志賀 敏宏 教授

	開講日	時　間	講　師
7	6 月　4 日（木）	13：00 ～ 14：00	加藤 みずき 専任講師
8	6 月 11 日（木）	13：00 ～ 14：00	増田 浩通 准教授
9	6 月 18 日（木）	13：00 ～ 14：00	久恒 啓一 名誉教授
10	6 月 25 日（木）	13：00 ～ 14：00	飯田 健雄 名誉教授
11	7 月　2 日（木）	13：00 ～ 14：00	ゲスト講師
12	7 月　9 日（木）	13：00 ～ 14：00	飯田 健雄 名誉教授

【お申し込み】多摩大学 2020 年度 T-Studio 公開講座ホームページ　http://www.tama.ac.jp/t-kouza/index.html

〈グローバルスタディーズ学部〉「第 1 回湘南中国語スピーチコンテスト」開催

2020 年 2 月 8 日、「第 1 回湘南中国語スピーチコンテスト」（主催：湘南中国語スピーチコンテスト実行委員会・共催：湘南日本中国友好協会、多摩大学）が多摩大学湘南キャンパスにて開催され、藤沢市議会議長、湘南日中友好協会会長ら来賓をはじめ、出場者の家族や友人、関係者など約 100 人が観覧しました。

高校の部 16 名（3 校）、大学の部 8 名（4 校）が出場し、今回の課題テーマ「私と中国」について、一人 3 分間の持ち時間でスピーチを競い合いました。審査の結果、高校の部では藤沢清流高校 3 年生の山本海渚さん、大学の部は多摩大学 4 年生の西谷拓海さんがそれぞれ優勝者として選ばれました。

この大会は、中国・雲南省昆明市と友好都市である藤沢市を中心とした湘南地域で中国語を学ぶ学生や生徒を対象とし、優勝者は昆明市への研修旅行に招待されます。藤沢市や藤沢商工会議所、駐日中国大使館、国際交流基金、藤沢市都市親善委員会、姉妹都市・友好都市との交流を深める市民の会が後援し、若者世代の派遣により日中両国の青少年の交流を図ることを目的としています。

藤沢市にグローバルスタディーズ学部のキャンパスを置く多摩大学は、この中国語スピーチコンテストをきっかけに若い世代の日本と中国の友情がさらに深まり、両国の友好の輪がますます発展していくことを期待しています。

スピーチコンテスト終了後に出場者全員と実行委員会の皆さんとの記念撮影

地域再発見

多摩地域の名所・旧跡 ⑥　二ヶ領用水（にかりょう）（川崎市）

江戸時代に完成した神奈川県で最大規模の農業用水

「二ヶ領用水」とは、江戸時代につくられた稲毛領と川崎領の二ヶ領にわたる（現在の多摩区と川崎区地域）農業灌漑用水路です。小泉次大夫の指揮のもと、地域農民たちが慶長 2 年（1597）から慶長 16 年（1611）まで、14 年の歳月を費やして完成させました。対岸の世田谷領・六郷領を流れる六郷用水も合わせて「四ヶ領用水」と総称することもあります。二ヶ領用水は多摩川流域において灌漑面積が最も大きく、江戸中期には 60 ヶ村 2,000 ヘクタールの水田に水が引かれました。上河原堰と宿河原堰の二ヶ所で多摩川から取水した水は途中で合流し、久地村（現・高津区）の分量樋で四つの堀（久地堀・六ヶ村堀・川崎堀・根方堀）に分水されました。この久地分量樋は樋（水門）により決められた水を分ける施設です。しかし、正確な分水ができず、水量をめぐる水争いが絶えませんでした。現存の「久地円筒分水」は昭和 16 年（1941）に造られた自然分水方式の施設で、歴史的な重要性、初期の円筒分水の事例であることから、平成 10 年（1998）国の有形文化財に登録されました。近年、二ヶ領用水は農業用水の役目をほぼ終えて、親水護岸と桜並木が整備された市民の憩いの水路として親しまれています。

二ヶ領用水

宿河原堰取水口

久地円筒分水

※多摩大学において「多摩地域」とは、多摩川と相模川に挟まれた大きな三角地帯、さらに三浦半島なども含めたエリアを広域多摩地域と捉えています。

体育会フットサル部

「第 3 回関東大学フットサルリーグ 2019」優勝！

多摩大学体育会フットサル部は、Abeam Systems Presents「第 3 回関東大学フットサルリーグ 2019」で、見事優勝を果たしました。

プレリーグ時代から続いた準優勝記録を塗り替え、悲願の初優勝となります。

「東京都大学フットサルリーグ」3 年連続 5 度目のリーグ制覇！

多摩大学体育会フットサル部は、「東京都大学フットサルリーグ 2019」において、8 勝 1 分 1 敗で 3 年連続 5 度目のリーグ制覇を果たしました！

MVP：木村 芳之（3 年）

得点王：石井 宗人（3 年）

インターゼミ

インターゼミ懇親会 開催

インターゼミ（社会工学研究会）は、毎週土曜日、九段下寺島文庫 3 階の多摩大学九段サテライトで開講している寺島実郎学長の直轄ゼミナールです。経営情報学部・グローバルスタディーズ学部の 2 学部の学生と社会人大学院生の約 30 人を 5 つのチームに分けて、それぞれに年間課題として研究テーマを与え、文献研究とフィールドワークでチームとして課題に対する論文を書き上げます。 1 つのチームに両学部・大学院の教授が 3 名以上配置され、世代を超えた共同研究となっています。

テストや課題など日々多忙な学生生活を過ごす中で、学生たちにとって卒業生や社会人と分担しながら結論を導きだすインターゼミでの論文制作は決して容易な作業ではありません。最終論文の提出に向けて集中しチーム一丸となり、ノンストップで完走してきました。

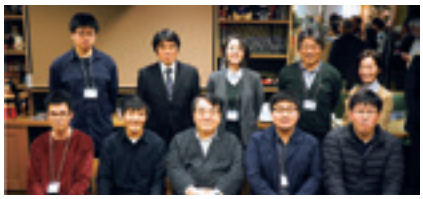
2020 年 1 月 25 日には全チーム論文を提出し終え、インターゼミ懇親会が行われました。懇親会は 1 年間苦楽を共にした仲間と完成の喜びを分かち合い、互いに慰労し、さらに学生同士だけでなく社会人である卒業生とも交流できる貴重な時間となりました。このような体験は社会人となったとき必ず実となり、数年後に論文を見返した際には自身の成長を感じることができるでしょう。

AI 班

アジアダイナミズム班

サービス･エンターテインメント班

多摩学班



地域班

インターゼミ発表時の様子

Rapport No.109

発行：多摩大学　〒 206-0022　東京都多摩市聖ヶ丘 4-1-1　TEL:042-337-1111　FAX:042-337-7103
E-mail：rapport@gr.tama.ac.jp　URL：https://www.tama.ac.jp
制作・印刷：株式会社 インフォテック　発行日：2020 年 3 月 30 日